

今日、停電したら

【図上演習版】

種別	図上演習
対象	従業員全般
規模	1グループ4~8人
時間	1時間程度
機材	机、椅子 投影画面(モニタやプロジェクタ)

いま、停電が発生してしまった場合には、今ある知識、技術、器材で対応しなければなりません。今の自身と、居合わせたメンバーで何が出来るのかを確認する研修です。現状を知ることにより、足りないものにも気づくことができます。他のグループの行動を知ることで見解があるかもしれません。



コンテンツ概要：

停電への対応には原因探索と復電、代替電源の調達、電気に依らない代替手段の確立があります。

自家発電や蓄電設備が在れば停電後も電力供給が継続されますが、施設や組織により備えは千差万別です。多くの場合、自施設の設備状況を研修会の中で紹介させていただき、分電盤など実物を見学して場所や解錠方法、暗さなどを体験して頂きます。

予備電源があつたとしても停電時には負荷の取捨選択が求められます。誰が何を基準に判断すべきか、その判断にどの程度の時間や情報が必要になるのかなど図上演習を通じて体験していただきます。

電気事業者側の要因による停電は、自施設の予備電源が機能しますが、構内設備の故障の場合は発電機等が動作しても構内の送電ができない場合があります。完全な電源喪失の図上演習は本研修の中核にあります。

独自シナリオで初動や数日後の対処法など多様な場面を演習して頂きます。初動でほぼ終わる24時間以内、医療福祉施設に多い1週間程度など停電期間や規模はご希望をおうかがいしています。

